



AIM市場 - 二次資金調達が53%急増 2020年上半期に28億ポンド調達

UHY FAS ニュースレター / 2020年7月

企業が経済混乱を乗り切るのを助けるために 調達された追加資金

私たちの調査によると、2020年上半期に二次資金調達を通じてAIM上場企業が調達した金額は、2019年の同じ期間に調達された18億ポンドと比較して28億ポンドで53%増加している。

AIM企業は、現在の経済嵐に対する防御策を構築しながら、権利問題と配置を急いでいる。

オルタナティブ・インベストメント・マーケット(AIM)は、COVID-19による混乱の中で独自に登場し、ロックダウンにもかかわらず資金調達のプラットフォームとしての強さを示している。

AIM上場企業は、パンデミック時にバランスシートを保護し、運転資金を供給するために多額の資金を調達することができた。

- ・ オンライン小売業者ASOSは、4月に2億4,700万ポンドを調達
- ・ Jet2holidaysのオーナーであるDart Groupは、5月に1億7,200万ポンドを調達
- ・ ロボットソフトウェア会社Blue Prism Groupは、4月に1億ポンドを調達

企業はロックダウンの最悪の状態から脱出しているため、パンデミックがもたらした機会を利用して、資金拡大のために株式で調達している人が増えている。

例えば、オンライン小売業者BooHooは、2020年6月に破産したファッションブランドOasis and Warehouseのオンラ

インビジネスの買収資金の一部として1億9,800万ポンドを調達した。

AIM上場企業は、コロナウイルス主導の経済ストレスの期間中、非公開企業よりも株式を調達するのに適している。AIMは、成長企業が前回の金融危機を乗り切るのを助け、それ以来、上場企業の質を大幅に向上させた。経済が回復し始めると、株価が比較的迅速に確立された通常の水準に戻ることができるという確信があるので、より多くの投資家がAIMビジネスについて安心して支援することにつながった。

ロンドン事務所のパートナーであるダニエル・ハトソンは、「3月以来、AIMは資金調達プラットフォームとしての価値を証明しており、COVID-19に対応してバランスシートを強化する重要な機会を企業に提供した」と述べている。

「市場には明らかに意欲があり、投資家は依然として成長企業に投資できる十分な自信を持っている。AIMは前回の金融危機を通じてテストされ、混乱に対処するためのより堅牢で整った市場が出現した。」

「一部の民間企業は、PEとVCの投資家がCOVID-19パンデミックの間に現金を確保するようになると、慎重なアプローチを取り、株式を調達するための選択肢を制限していることを見出した。機関投資家は、上場企業のバランスシートを、特に価格を引き下げて増強することに、はるかに満足しているようだ。」

「パンデミックの最悪の事態から私たちが望んでいるものから脱出し始めているので、強いレベルの二次的な調

達と共に、市場への新規参入者数が上昇し始める可能性がある。」

2020年7月7日

ダニエル・ハトソン

本文は、UHY hacker young 事務所が作成したのを、UHY FAS が抄訳したものです。ご質問やご要望がございましたら、お気軽にお問い合わせください。



コンタクト

株式会社 UHY FAS

齊藤 守人 - バイス・プレジデント

Email: saito.fas@uhy-tokyo.or.jp

〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-1-1 JR 東急目黒ビル 4F

Tel: +81 3 6417 0067 / Fax: +81 3 6417 0783

Website : <https://www.uhy-tokyo.or.jp/uhy-fas>

